



# さんが

第 百 号

平成 三一年  
西暦 二〇一九年  
正月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一  
TEL 〇七五-六三一-二二七二  
FAX 六三一-五七二五  
E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)

# 謹賀新年

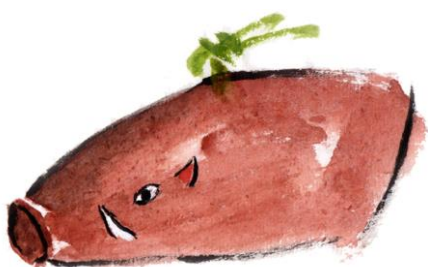
## 玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

東堂 泰明

寺族 マヤ

妙子



画 妙子

「亥の年は何かが起こる」と聞くことがあります。災害の続いた昨年のことを思うと、今年は、みんなが幸せに思えるできごとが起こってほしいと、願うばかりです。

さらに今年は、天皇陛下の代替わりもあって、なにごとにも、「平成最後」という枕詞がついてきます。これが最後と思うと、ていねいにしようという気持ちかわいてきそうです。日々をたいせつに暮らすには、いい意識づけになるかもしれませぬ。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

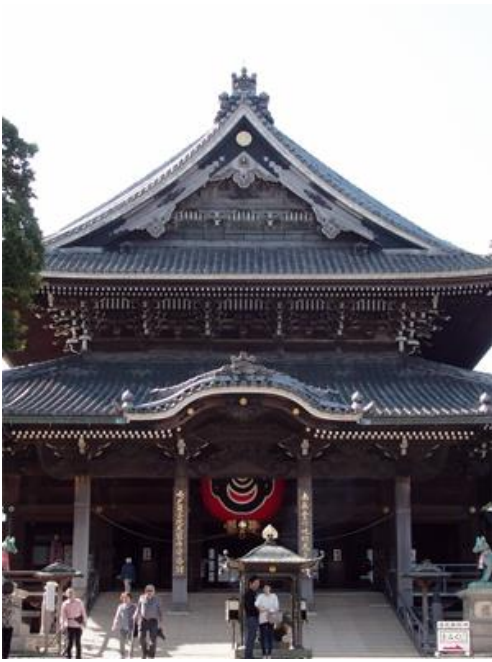
# 団参に、行ってきました

昨秋、十月二五日から二六日にかけて、恒例の檀信徒参拝旅行に、愛知県方面まで行ってまいりました。

東運寺からは、住職夫婦をふくめ三名が参加。豊川稲荷（妙厳寺）では、みなさまの所願成就を祈禱していただきました。常滑焼の絵付け体験では、みんなそろって筆を持ち、自分だけのマグカップを作りました。

宿泊した館山寺温泉では、浜名湖の雄大な眺めとおいしい料理を堪能し、親睦を深めました。

団参は毎年あります。来年には、さらに多くのみなさまとごいっしょでできますよう、お待ちしております。



豊川稲荷（妙厳寺）の金堂です。  
ここで、威勢の良いご祈禱の法要が、毎日行われています。

## 「さんが」が百号を迎えました

「さんが」を発行し始めてから四半世紀がたち、このたび、第百号をお届けすることができました。これもひとえに、暖かく応援下さっているみなさまのおかげと、深く感謝しております。

「さんが」の名前の由来は、「なかま」という意味のふるいインドの言葉です。

ひとりではなくじてしまいそうな不安に出会っても、支えてくれるひと、見守ってくれるひとがいれば、勇気を持って乗りこえられると信じています。このお便りが、みなさまに寄り添う力のひとつになれることがあれば、幸いに思っております。

ついに昨年末、奥の庭の松が伐採されました。

一時は青い葉を見せていて、もう少し様子を見よう、ということになっていたのでありますが、秋にはすべて枯れてしまい、伐採することになりました。

ご心配をくださっていたみなさまには、深く感謝申し上げます。しばらくは何も植えず、このまま様子を見る予定です。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索